

機械器具18 血圧検査又は脈波検査用器具
管理医療機器 自動電子血圧計 16173000

*オムロンデジタル自動血圧計 HEM-747 ICN

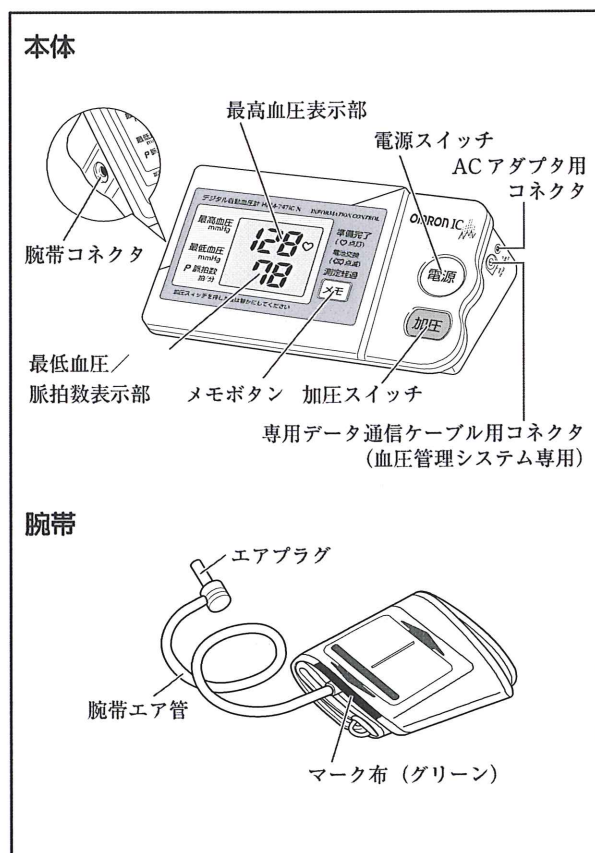
【禁忌・禁止】

（血圧計を適正にご使用頂くための注意事項です。）

- (1) 測定結果の自己判断、治療は危険ですので医師の指導に従ってください。
- (2) 乳幼児や自分で意思表示ができない人には使用しないでください。
- (3) 上腕周囲 220 ～ 320 mm 以外の方は使用しないでください。
- (4) 専用の腕帯以外は使用しないでください。
- (5) 専用の AC アダプタ以外は使用しないでください。

【形状・構造及び原理等】

*1. 主要部の形状と名称



付属品

標準用腕帯（型式：HEM-CUFF-N）

お試し用電池（単3形マンガン乾電池4本）

取扱説明書（品質保証書付き）

ソフトケース

2. 本体寸法及び重量

外形寸法：175（幅）× 71（高さ）× 118（奥行き）mm

質 量：約 520 g（電池含まず）

3. 電気的定格

電 源：単3形マンガン乾電池4本（DC6V）

専用 AC アダプタ（AC100V 50/60Hz）（別売）

電撃保護：内部電源機器B形装着部

4. 作動・動作原理

腕帯圧力を、最高血圧以上に加圧後、徐々に減圧していくと、圧力に心拍と同期した脈動現象が表れます。この脈動の出始めは小さく、減圧に従い大きくなり、やがて最大振幅を示した後、再び小さくなる山型のパターンになります。オシロメトリック方式の血圧計は、この脈動分の振幅波情報と腕帯圧力をマイクロコンピュータで解析し、最高血圧および最低血圧を決定しています。

* **EMC 適合** 本製品は EMC 規格 IEC 60601-1-2：2001 に適合しています。

【使用目的、効能又は効果】

健康管理のために収縮期血圧及び拡張期血圧を非観血的に測定すること。

圧力

- * (1) 測定範囲 : 0 mmHg ～ 299 mmHg
- (2) 目 量 : 1 mmHg
- (3) 送 気 : 自動加圧ポンプによる加圧
- (4) 排 気 : コントロール弁による徐々減圧
および自動急速排気
- (5) 測定可能腕周 : 220 mm ～ 320 mm

脈拍

- (1) 測定範囲 : 40 拍/分～180 拍/分
- (2) 目 量 : 1 拍/分
- (3) 精 度 : 読み取り数値の ± 5% 以内

取扱説明書を必ずご参照下さい。

【品目仕様等】

- (1) 臨床性能試験による血圧測定の見誤差：
聴診法との見誤差平均；± 5 mmHg 以内
標準偏差 ；8 mmHg 以内
- (2) カフ内圧力表示の見誤差：± 3 mmHg 以内
- (3) 急速排気：
260 mmHg から 15 mmHg に急速排気する
ために要する時間 ；10 秒以下
- * (4) カフ内圧力表示の安定性：
10,000 サイクルの模擬測定後のカフ内圧力
の表示値の変化 ；3 mmHg 以下

【操作方法又は使用方法等】

ご使用にあたっては、取扱説明書をよくお読みになってご使用ください。

- (1) 電池を入れます。
- (2) 次の手順で腕帯を巻きます。
 - 1. エアプラグを血圧計本体の腕帯コネクタに差し込みます。
 - 2. 腕帯を腕が入るくらいに筒状に広げます。
 - 3. 筒状に広げた腕帯の中に、左腕を手のひらを上に向けて通します。
 - 4. 腕帯のマーク布がひじ関節の内側にくるようにし、腕帯の下端をひじ関節部から 1 ～ 2 cm 上に合わせます。
 - 5. 腕にピッタリと巻き上げ、布ファスナーで固定します。
- (3) 座った姿勢で手のひらを上にし、ひじをテーブルまたは台の上に載せ、腕帯の中心が心臓（乳頭）の高さになるようにします。
- (4) 電源スイッチを押します。
- (5) 加圧スイッチを押します。
自動的に加圧がはじまり測定を開始します。
・体の力を抜いてリラックスし、測定結果が表示されるまで体を動かさないでください。
表示部に測定結果（血圧値と脈拍数）が交互表示されます。
- (6) メモボタンを押します。
使用方法に関しては、担当医の指導に従ってください。
- (7) 測定が終了したら、電源スイッチを押して電源を切ります。
・詳細については取扱説明書をよくお読みください。

【使用上の注意】

- (1) 測定中に異常を感じたり、気分が悪くなった場合は使用を中止してください。
- (2) 重度の血行障害または血液疾患のある方は、圧迫により一時的に内出血が発生することがありますので医師の指導のもとご使用ください。
- (3) 手動加圧される場合、圧迫により一時的に内出血が発生することがありますので、取扱説明書をご参照のうえ必要以上に加圧しないでください。
- (4) 腕帯は心臓と同じ高さに保ってください。
- (5) 安静にして、リラックスした状態で測定してください。
- (6) 入浴や飲酒の後で測定はしないでください。
- (7) 測定が正常に行われなかったときはエラー表示します。

- (8) 電池交換マークが単独で表示したときは、4 本同時に新しい電池と交換してください。
- (9) 電池は、単 3 形マンガン乾電池およびアルカリ乾電池（4 本）以外は使用しないでください。
- (10) 血圧測定以外の目的で使用しないでください。
- (11) 血圧計の本体や腕帯は分解や改造しないでください。
- (12) 本製品の周辺で携帯電話を使用しないでください。本製品が誤動作する恐れがあります。
- (13) この血圧計は他の医療機器と併せて使用できません。必ず同梱の血圧計本体と腕帯を使用してください。他の医療機器や器具とつながないでください。事故の恐れがあります。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

1. 貯蔵方法

次のようなところに保管しないでください。

- (1) 水のかかるところ。
 - (2) 高温・多湿、直射日光、ホコリ、塩分などを含んだ空気の影響を受けるところ。
 - (3) 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）のあるところ。
 - (4) 化学薬品の保管場所や腐食性ガスの発生するところ。
- 長期間（3 カ月以上）ご使用にならない場合は、電池を取り出して保管してください。

* 2. 耐用期間

製造日から正規の保守点検を行った場合、5 年あるいは 3 万回のいずれか早く到達した方とする。

[当社データによる。]

【保守・点検に係る事項】

- (1) 血圧計はいつも清潔にしてお使いください。
- (2) 本体の汚れは乾いたやわらかい布で拭き取ってください。
- (3) 汚れがひどいときは、水または中性洗剤をやわらかい布にしみこませ、良く絞ってから汚れを拭き取ってください。汚れを拭き取った後、乾いた布でから拭きしてください。
- * (4) 汚れを落とすときアルコール、ベンジン、シンナーなどを使用しないでください。

【包装】

1 台／箱

【製造販売業者及び製造業者の名称及び住所等】

製造販売元：オムロンヘルスケア株式会社

〒 615-0084

京都府京都市右京区山ノ内山ノ下町 24 番地

電話：0120-30-6606

製 造 元：オムロン松阪株式会社

〒 515-8503

三重県松阪市久保町 1855-370